

## 7 トピックス

### ピックアップ授業紹介！「地域学」

今年度より新規開講したビジネスコース3年生選択科目の「地域学」を紹介します。この授業では、地域の歴史的な形成過程や現状について、フィールドワークを通じて多角的かつ実証的に読み解きながら、地域が直面する課題の構造的把握とその解決に向けたまちづくりプランの提案に取り組んでいます。今年度の研究フィールドは新潟キャンパスに近接する、南浜船だまり周辺です。

実際に地域の方に現状や課題を聞き、町づくりプランを作成しました。発表を聞いた地域ゲストの方からは「私たちでは思いつかない素晴らしいプラン。食農大の学生さんにこれからも関わってほしい」などのコメントをいただきました。



### 初！屋外で留学生&日本人学生交流会

7月9日（水）に「留学生&日本人学生交流会」を開催しました。毎年2回開催している交流会ですが、今回、初めて屋外で開催し、焼きそば作りをしました。一緒に作った焼きそばをおいしく話しながら食べて、交流を深めるとともに、軽音サークルの演奏もあり、とても楽しい会となりました。

現在、中国、ベトナム、インドネシア、ネパール、スリランカ、バングラデシュ、モンゴル、香港、アメリカ、マレーシア、シンガポール、イランなど、さまざまな国・地域から多くの留学生が日本人学生と共に学んでいます。授業以外でのこのような機会により親睦が深められたようでした！



### 学生大活躍！村上市大須戸さくらんぼまつり

6月22日（日）に、村上市大須戸地区にて「大須戸さくらんぼまつり」が開催されました。学生たちは、春先からのさくらんぼ栽培にもボランティアとして参加し、地域の方々と交流しながら、花粉付け・ネット張り・摘果・収穫・梱包などの作業や、田植え活動をしました。お祭り当日は、早朝から収穫・梱包し、販売。たくさん用意された朝採りさくらんぼでしたが、販売開始前から行列になっていたこともあり、あっという間に完売しました。また、栽培ボランティアに関わっていた軽音サークルのメンバーは、お祭りのステージで演奏しました。楽しいお祭りでした！



## 8 メールアドレスのご登録のお願い

会員の皆様とのより効率的かつスピーディな情報共有を目的に、会員の方のメールアドレスを収集させていただいております。

下記のURLまたは二次元コードよりご登録いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

【登録フォームURL】

<https://forms.office.com/r/YPJvdMzQJc>

※昨年度ご登録いただいた方は、ご登録は不要でございます。

登録フォーム  
二次元コード



## 9 ホームページのご案内

昨年度より、新潟食料農業大学同窓会のHPを開設しております。今後のイベントや会報誌については、こちらでご確認いただけますので、是非ご覧ください。

【同窓会ホームページURL】

<https://nafu.ac.jp/alum-community/>

ホームページ  
二次元コード



# 新潟食料農業大学

# 同窓会会報誌

Vol.1



2024年度卒業式・大学院修了式

- 1 同窓会会長あいさつ
- 2 学長あいさつ
- 3 同窓会役員名簿
- 4 2024年度活動報告
- 5 2025年度大学活動
- 6 2025年3月退職された先生からのご挨拶
- 7 トピックス
- 8 メールアドレスのご登録のお願い
- 9 ホームページのご案内



新潟食料農業大学  
Niigata Agro-Food University

▶新潟キャンパス 〒950-3197 新潟県新潟市北区島見町 940  
▶胎内キャンパス 〒959-2702 新潟県胎内市平根台 2416

## 1 同窓会会長あいさつ



同窓会会長  
赤塚 晶

新潟食料農業大学は創立8年目を迎え、これまでに多くの卒業生が巣立ち、それぞれが全国各地やさまざまな分野において活躍されています。卒業生の活躍の場が広がるとともに、同窓会の役割も年々大きなものとなり、卒業生同士の交流や母校とのつながりを深める場として、その重要性はますます高まっています。

このたび、令和7年度より同窓会会長を務めさせていただくことになりました、燕市出身の赤塚晶（あかつか あきら）です。24歳と若輩者ではありますが、本学で学び、多くの先生方や関係者の皆さま、そして同窓生の支えによって今日に至っていることに、あらためて感謝の念を抱いています。

今後は、母校と同窓生、また同窓生同士をつなぐ架け橋となることを目標に、皆さまの声に真摯に耳を傾け、より開かれ、参加しやすい同窓会づくりに努めていきます。卒業年次や所属の垣根を越えた交流の輪を広げ、同窓生の皆さまにとって誇りに思っただけの同窓会となるよう、誠心誠意取り組んでいきます。

今後とも、同窓会活動へのご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 2 学長あいさつ



学長  
中井 裕

同窓会員の皆さん、お元気でご活躍のことと思います。

2025年3月に無事、4期生を送り出すことができました。本学の卒業生が増え、同窓会の形も整えられつつあります。今回は、会報誌第1号を発行することができました。

2024年9月には、同窓会組織の情報連絡網として同窓会ホームページを開設し、同窓生の紹介、活動、学園祭などの情報を発信しています。今年度は会報誌を郵送することとしましたが、次年度以降は、ホームページ上に掲載する予定です。

これまでの同窓会の活動としては、2023年度には、学友会にコピーカードを寄贈しました。2024年度には、学友会にテント寄贈し、橙和祭のゲストライブの支援を実施しました。さらに、橙和祭当日10月20日に教員と在学生との交流会（ホームカミングデー）を開催しました。私も多くの卒業生と言葉を交わすことができ、よい一日になりました。

今後も、卒業生の皆さん、教員、在学生の交流の場として、同窓会がより発展するよう大学としてもできる限りの支援を続けて参ります。

同窓会員の皆様の益々のご活躍を祈念しております。

## 3 同窓会役員名簿

（敬称略）

2025年度役員	役職名	会 長	副会長	副会長	会 計	会 計	監 査	監 査	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事
	氏 名	赤塚 晶	尾崎 愛未	佐藤 奈生	加藤 梨奈	菅野 愛華	手代木 聡太	伊藤 航大	樋浦 彦哉	叶野 結子	佐藤 ゆま	長澤 妃菜	橋内 優太	清水 日菜乃
卒業年度	2024	2025	2025	2024	2025	2024	2025	2023	2024	2025	2025	2025	2025	2025
所属コース	アグリ	ビジネス	フード	フード	ビジネス	ビジネス	アグリ	アグリ	フード	アグリ	アグリ	フード	ビジネス	ビジネス

## 4 2024年度活動報告

- 2024年5月26日（日）2024年度第1回同窓会役員会
- 2024年5月26日（日）2024年度同窓会総会
- 2024年6月23日（日）第2回同窓会役員会
- 2024年8月10日（土）第3回同窓会役員会
- 2024年9月8日（日）第4回同窓会役員会
- 2024年10月20日（日）第5回同窓会役員会
- 2025年2月8日（土）第6回同窓会役員会
- 2025年3月15日（土）卒業式・同窓会入会式

## 5 2025年度大学活動

- 2025年4月5日（土）入学式（学部・大学院）
- 2025年4月8日（火）前期授業開始
- 2025年5月16日（金）食料産業基礎実習（田植え）
- 2025年5月31日（土）同窓会役員会・同窓会総会
- 2025年7月9日（水）第1回留学生&日本人学生交流会
- 2025年7月16日（水）心肺蘇生法とAED講習会（1年生）
- 2025年7月29日（火）～8月5日（火）前期定期試験
- 2025年8月6日（水）～8日（金）前期 追試験・再試験
- 2025年8月9日（土）～9月16日（火）夏季休暇期間
- 2025年8月29日（金）創立記念日
- 2025年9月17日（水）食料産業基礎実習（稲刈り）
- 2025年9月22日（月）後期授業開始
- 2025年10月16日（木）防災避難訓練（胎内キャンパス）
- 2025年10月19日（日）大学祭（橙和祭）
- 2025年10月20日（月）防災避難訓練（新潟キャンパス）
- 2025年12月26日（金）年内授業最終日
- 2025年12月27日（土）～1月4日（日）冬季休暇期間
- 2026年1月5日（月）後期授業再開
- 2026年1月15日（木）～1月21日（水）後期定期試験
- 2026年1月27日（火）～29日（木）後期 追試験・再試験
- 2026年2月6日（金）～12日（木）卒論発表会
- 2026年3月14日（土）卒業式・修了式

## 6 2025年3月退職された先生からのご挨拶



伊藤 豊彰 教授  
(アグリコース)

新潟食料農業大学は卒業生みなさんの港です

卒業生のみなさま、お久しぶりでございます。伊藤豊彰です。このたび、7年間勤務させていただきまし、みなさまの母校を退職することとなりました。在学中は、みなさんの眼を見張るほどの成長に驚かされ、その遅くなっていく姿には感動する日々でした。みなさんには教師冥利に尽きる経験をさせていただきまし。本当にありがとうございました。開学1年目の春には、砂漠のようだった大学の畑は、みなさんによって土づくりをしていただいたおかげで、地力が増し、今や春～秋にはたくさんの種類の作物が育つ、みごとに沃野に生まれ変わりました。まるで、みなさんが、食農大や実社会で力を蓄え、自信をもって活躍しているように見えます。でも、うまくいかない時もあるでしょう。その時は、一人で抱え込まないで気軽に先生方とお話しにきてください。大学は嵐を避けるみなさんの港でもあります。よろしければ、私もその仲間に加えてくださいね。



吉岡 俊人 教授  
(アグリコース)

わたしが胎内キャンパスに着任したのは第1期生が3年次となった2020年4月でした。青山浩子先生、荒木肇先生、岩坂健志先生、横向慶子先生が同期就任教員です。住まいの2階窓からは水田が間近に見えて稲作の耕種層を辿りましたし、その向こうに遠望する、夕日に浮かぶ佐渡のシルエットはとくに心に残っています。さて教育では、1年生必修科目「植物生理・生態学概論」で、農業がここ1万年間の奇跡的な気候安定のうえに成立していること、他方、農業には地球環境に重大な影響を及ぼす側面もあることを理解してもらいました。そのみなさんなら、将来従事する仕事において生産と環境の調和を志向されるであろうとの期待もお話ししましたね。

研究では、「新規花成遺伝子PSV1」、「絶滅危惧植物アゼオトギリ」、および「水田抑草ロボットIGAM」の3テーマを卒研生15名と修論生1名、およびテクニカルスタッフ5名で進めてもらいました。PSV1が種子春化の責任遺伝子であることが確実になり、アゼオトギリの植物的特性が明らかになって保全区を設定できました。IGAMについては、農水プロジェクト「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」に採択され、特許申請に至りました。紙面を借りて、卒研生、修論生、ならびにテクニカルスタッフ各位に深く感謝します。NAFUでの心残りは、チューター制度整備とスポーツ大会実施が叶わなかったことです。チューターに関しては、勉強支援体制が整えられつつあるようで何よりです。スポーツ大会は、1～4年生間と学生/事務局間の親睦を増進する目的で、どなたかに企画していただければ嬉しく思います。

なお、2028年1月出版を目指してベーシック農学シリーズ全6冊（株式会社 化学同人）の出版準備を進めています。そのうちの『農業環境学（仮題）』では新潟食料農業大学の先生方に執筆いただきますので、乞うご期待!!

それでは、みなさまのさらなるご活躍を祈念申し上げます。



横向 慶子 教授  
(フードコース)

新潟食料農業大学同窓会の皆様、フードコースの横向慶子です。コロナ禍の2020年4月に赴任し25年3月まで5年間ありがとうございました。4月からは日本女子大学で食科学部食科学科通信教育課程の特任教授として新しい日々を過ごしています。

卒業生の皆さんも今頃は、きっと新しい世界と数年前の自分を比較したり、新たな何かに挑戦していることと思います。

NAFUでの最終講義で、松尾芭蕉の言葉「不易流行」（新しさを取り入れていくこと、永遠に変わらないことの本質）と好きな言葉「セレンディピティ」（準備をしている人のところに偶然の幸運が訪れる）を話しましたが、これからのNAFUも卒業生の皆さんも建学の精神「創造、自由、多様」をベースに何を準備し、どんなベクトルを得て、進むかが楽しみです。一人一人が自ら機会を作り、何か一步を踏み出せば、1期生から4期生の一步は500歩になります。歩みを止めず縦横に繋がりNAFUらしい伝統を作り、そして一緒に10年後にさらに大きくなったNAFUで遅くなった皆さんに、再会できるのを楽しみにしています。お元気でいらして下さい。



山中 亮 准教授  
(アグリコース)

同窓生の皆さん、ご無沙汰しています。皆さん、元気にお仕事頑張っていますでしょうか。皆さんが各々の職場で活躍されていることを期待しています。また、私の講義でお伝えしていたように、将来を見据えて健康的な生活ができていますか？もしこの文章を読んで、私が皆さんにお伝えした内容を思い出した人がいたり、「まずい」と思ったりした人は、今後少しでも生活を改善していただければと思います。

さて、私は2024年度で本学を退職することになりました。本学では計7年間勤務しました。同窓生の皆さんと多くの場面で関わられたこと、非常にうれしく思うとともに、貴重な体験となりました。異動先は私の専門であるトレーニング科学を教える立場となります。



車 競飛 講師  
(ビジネスコース)

同窓生の皆さんへ

皆さん、お元気ですか。この度、新潟食料農業大学を離れ、新たな道へ進むこととなりました。これまで、皆さんと共に過ごした日々は、私にとって大切な思い出であり、今でも鮮明に心に残っています。

振り返れば、授業も部活も、皆さんが努力を重ね、成長していく姿を見ることが、私にとって何よりの喜びでした。卒業後も、それぞれの道で活躍されていることを耳にし、大変嬉しく思っています。

新たな環境での挑戦には不安もありますが、これまでの経験を生かしながら、前向きに歩いていきたいと思えます。これからも皆さんの活躍を心から応援しています。いつかまたお会いし、互いの成長を語り合える日を楽しみにしております。